

はるひ野町内会 最近のトピックス



会長 杉本 秀治

2024年 2月 1日

本日のテーマ

01. はるひ野夏フェス2023
02. はるひ野カレッジ (通称 はるかレ)
03. 年代別懇親会
04. はるひ野縁日
05. まちづくり本部
06. ニューイヤーコンサート **NEW**
07. 組織運営のポイント・特徴

はるひ野夏フェス2023

- ①開催日：2023年8月12日（土）（学校閉庁日）
- ②開催場所：はるひ野小中学校 校庭
- ③来場者数：2,706人
- ④コンテンツ：ステージは空手演武・ベリーダンス・バンド・ビンゴ大会など
出店は企業出店・キッチンカーなど 19時からの花火で終了
- ⑤推進メンバー

10歳代から70歳代までの
ボランティア（100人以上）



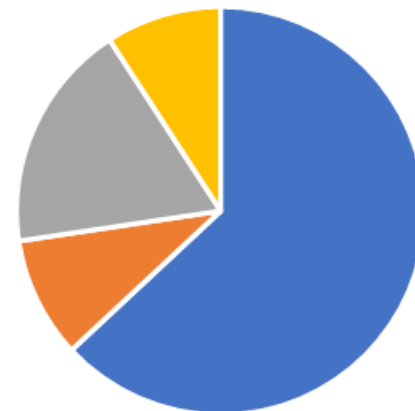
はるひ野夏フェス2023

来場者数カウントの方法

Google Formで受付画面を作成



夏フェス来場者 居住地別



■ はるひ野 ■ 黒川 ■ はるひ野・黒川以外の麻生区 ■ 麻生区以外

夏フェス来場者 年齢層別



■ 未就学児 ■ 小学生 ■ 中学生 ■ 高校生以上

はるひ野カレッジ (通称 はるカレ)

①今までと違った「町内会イベント」を企画

- ・町内には、さまざまな知識やスキル、才能を持った方々が在住
- ・はるひ野町民による町民のための講座を開設

大人のための勉強会

②会場に集合 + Zoomオンラインでのハイブリッドで開催

③今までに3回実施

- ・宇宙工学のお話（大学で開発している人工衛星について）
- ・発酵食（免疫力アップ、アンチエイジング）
- ・依存症の予防と回復（お酒のトリセツ、アルコール依存症の実際と回復）

④「既存のイベントに不参加」の方々が、「おもしろい」と参加している



年代別懇親会

①狙い

顔の見える住民同士の交流活性化 / 防犯・防災対策向上（住民同士のつながり強化）

②場所：町内会事務所

③参加方法：回覧上の二次元バーコードにより参加登録

④参加費：1千円（それ以外は町内会負担）

⑤開催実績：40歳代、50歳代、60歳代の計3回を開催済

・2月に70歳代以上を開催予定

⑥今後の予定：20歳代、30歳代を開催継続、その後に再度40歳代（2巡目突入へ）

⑦重要なルール

町内会執行部への勧誘は行わない（回覧上にも明記）

第3回 はるひ野親睦会 開催のご案内

皆さんは、はるひ野の安心・安全なまちづくりに向けてどのようにお考えでしょうか。
コロナ禍による行動制限は緩和された一方、この間、住民同士の繋がりの希薄化・金品の強奪を目的とした凶悪な事件の発生など、社会環境は変化を続けています。
はるひ野町内会では、今年度、住民同士のコミュニケーションの促進に向けた取組みとして「はるひ野親睦会」を開催することとしました。
皆さん、積極的なご参加、お待ちしております。



- 日 時：2023/12/09（土） 17：30～20：00
- 会 場：町内会事務所
- 目 的：顔の見える住民同士の交流の活性化 / 防犯・防災対策の向上
- 参加対象：60代

第1回は40代、第2回は50代で開催し、各々、参加者10数名で親睦を深めました。
今回は、60代です。
はるひ野に、長く住まわれている方も、多くいらっしゃると思いますが、あらためて、親睦・交流を深めませんか◎◎◎
- 参加方法：右のQRコードより登録してください。（先着15名まで）
- 参加費：飲食代として1,000円/1人
- 締切り：11/24（金）
- 今後の予定：第4回：02/17（土）
- その他：町内会執行部への勧誘は、一切ありません。



はるひ野縁日

- ①開催日：2023年11月11日（土）（今年度）
- ②開催場所：こもれば公園、いろどり公園、黒川よこみね緑地の3か所（個人宅無し）
- ③主催：イベント部会
- ④出店例
ガレッジセール（子ども服、絵本、おもちゃなど）、手芸品・家庭 雑貨、趣味の
サークル活動紹介、花苗販売 など
- ⑤毎回工夫・変更しながら開催
- ⑥「街全体を会場」とした、はるひ野らしい誰でも参加できるイベントとして育てていく



まちづくり本部

- ① 設立：2022年
- ② 長期プランで、自主的に「まちの在り方」を検討
 - ・はるひ野に今住んでいる方々は、自分たちで考えて「まちを創り上げた」訳ではない
区画、住宅地であることなど = 与えられたもの
現在満足している方が多いが、**これからも満足は続くのか？**
 - ・「将来は、はるひ野も限界集落」（大半が後期高齢者？）になる？
・・・と言って会長就任時に住民を脅した？（2019年定期総会にて）
⇒ 「自分たちの住む場所をどうしたいか」を主体的に考える方向で動き出した
- ③ はるひ野の将来を考え始めると、その周辺も気になって、新百合ヶ丘駅周辺や麻生区全体の将来がどうあるべきか・・・と検討が広がってくるはず
- ④ 「はるひ野2040」とは、設立時に誕生した乳児が成人(18歳)になるときをゴールにしたため

はるひ野2040ディスカッションについて

まちづくり本部では、発足した2022年以降、2040年*においても“住みやすい街”であるためには何が必要か、何をすべきか等について討論を重ねてきました。

人口推移、社会情勢の変化等の外部要因を考慮しつつ、複数回のグループディスカッション、住民アンケート調査を実施し分析した結果、“はるひ野”ならではのいくつかの論点も見えてきました。

また、昨年11月「はるひ野緑日」でのアンケート調査においては、「今後も“はるひ野”に住み続けたい」と回答した方の割合が90%以上にも及び、この結果は「“はるひ野”は住みやすい」とこれまで得た調査結果および肌感覚とも符合します。

一方、将来に亘って“住みやすい街”を続けていくために、“今”考えなければならないこともあります。今回、今そこに迫っている事象(危機)も考慮して、サステナブルな“はるひ野”実現のために何が必要かをテーマにディスカッションを実施します。 ※2040年：2022年に生まれた子どもが成人を迎える年

■ ディスカッションテーマと日程

ディスカッション終了後1時間程度の懇親会を予定しています

テーマ	日時	場所
サステナブルな“はるひ野”のために何かをどうするか	2024年2月18日 15:00~17:00	トウトウジヤルダン集会室

＜懸念される事象＞

- はるひ野最多年齢層は40代後半
→30年後は全員後期高齢者！
→限界集落も現実味
→そのとき病院、スーパーは存在する？
- 来年度、はるひ野小学1年は80名ほど！
→近い将来小学校の統廃合？
- 20代後半は40代後半の5分の1
→将来の活動の担い手は？
- はるひ野にも空き家問題が。。
→地区協定、用途地域は妥当？
- 将来、“はるひ野”だけで生き残られる？
→他の地域との連携が必要？



ご参加いただける方はQRコードからお申込みを
問い合わせ先：haruhino.machizukuri@gmail.com



まちづくり本部

近日中にA3版で掲示板に掲出予定

このままいいの？



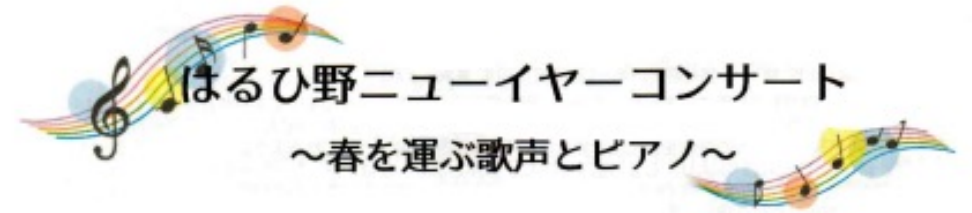
はるひ野2040ディスカッション
西暦2024年2月18日(日)15時
トウトウジャーダン集会室

はるひ野町内会まちづくり本部

NEW

ニューイヤーコンサート

- ①開催日：2024年1月28日（日）
- ②開催場所：はるひ野黒川地域交流センター
- ③当町内会単独でミニコンサートを開催
- ④高いクオリティを実現
 - ・プロ3名による本格的コンサート
 - ・グランドピアノを持ち込み など

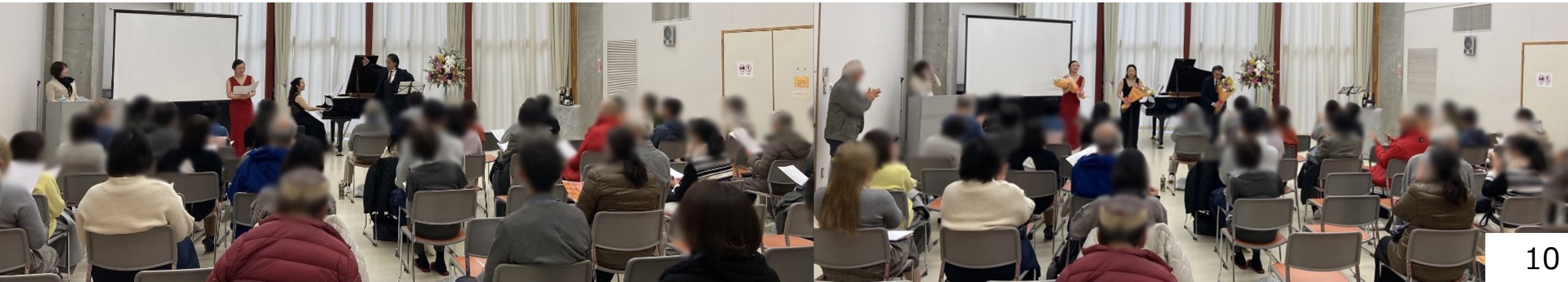


2024年1月28日(日) 開場 14:30 開演 15:00 (終演予定 16:30)
はるひ野黒川地域交流センター (はるひ野小中学校内)
主催：はるひ野町内会

第一部

- | | | |
|----------------------------|--------------|--------------|
| 1. 中国地方の子守唄 岡山県民謡 (ソプラノ) | 編曲 山田 耕作 | |
| 2. 赤とんぼ (バス) | 作詞 三木 露風 | 作曲 山田 耕作 |
| 3. 君がため織る綾錦 (ソプラノ) | 作詞 三木 露風 | 作曲 山田 耕作 |
| 4. この道 (バス) | 作詞 北原 白秋 | 作曲 山田 耕作 |
| 5. 練習曲 op.10-5《黒鍵》 (ピアノ独奏) | | 作曲 F.ショパン |
| 6. 郷愁 (ソプラノ) | 作詞 C.ハイネ | 作曲 P.チマーラ |
| 7. 蚕の歌 (バス) | 作詞 J.W.v.ゲーテ | 作曲 M.ムソルグスキー |
| 8. 魔王 (バス) | 作詞 J.W.v.ゲーテ | 作曲 F.シューベルト |

☪ 休憩 (15分) ☪



組織運営のポイント・特徴

基本方針

- ①「安全・安心な街」を維持
- ②「住民同士が顔の見える街」化を推進
～ 防犯・防災観点からの重要事項
- ③「楽しくなければ町内会ではない」を推進
～ 町内会関与者を増やすためにも大事

町内会として「必須」「継続していく」機能・活動

部会として活動

- (※) 対外的に「本部」名が必要な組織は「本部」とする
- ・住民のみなさんが、順番に担う
 - ・それぞれの部会参加者内で、部会長を選出

町内会をさらに「魅力ある組織」にする機能・活動

委員会（プロジェクト）として活動

- ・中心となる住民を会長が委員長として指名
- ・会長が委員会創設を承認し、委員長が役員会に創設報告、活動が終了した時点で解散
- ・自主的に参加いただける住民のみなさんで推進
- ・町内会会員以外の参加も「可能」
- ・町内会が運営上の必要経費を負担
次年度委員会の経費を想定し、該当年度の総会にて承認

より参加しやすい町内会に

夏フェス、20周年記念、はるカレ、ニューイヤーコンサートなど

心がけていること

1) 楽しくなければ町内会ではない

- ・参加者も楽しく

- ・主催者・協力者側も、もちろん楽しく

2) 参加者・協力者の参加ハードルを、最大限に下げる工夫